

〇ひまわりで笑顔と元気な里づくり

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	大分県 <small>くにさきしあきまち</small> 国東市安岐町 <small>やまぐち</small> 山口			
協定面積 37.5ha	田 (100%) 水稲・麦・大豆等	畑	草地	採草放牧地
交付金額 602万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	水路・農道等の維持管理		8%
		鳥獣害防止対策		8%
		景観作物作付け、管理		3%
		共同機械の管理及び導入、農作業の共同化経費		12%
交付金の積立・繰越		8%		
村づくり研修費役員報酬・役員会経費		11%		
協定参加者	農業者 33人、農事組合法人山口生産組合（構成員11人）			開始：平成17年度

2. 取組に至る経緯

山口集落では、平成5年6月に農事組合法人が設立され、農地の保全が行われてきたが、棚田については、農道も狭く勾配が急なため、大型機械の利用が困難な状況にあった。

このような中、平成17年度から中山間地域等直接支払制度に取り組み、棚田の保全に努めてきたところであるが、農家の高齢化も進み、今後の取組を危惧する声もあった。しかしながら、3期対策でC要件が創設されたことから、集落での話し合いの結果、本要件を活用し、引き続き本事業に取り組むこととなった。

これまで、共同取組活動として都市住民との交流で「ふれあい田植え」を行っていたが、不作付地対策として市内の業者からひまわりの栽培を勧められたことから、3期対策では新たに「ひまわり栽培」の取組を始めたところである。

3. 取組の内容

機械・農作業の共同化による農用地の保全、協定参加者による農道、水路の管理等のほか、堆肥などの有機質を活用した土作りを行う高付加価値型農業の実践として、景観作物のひまわりを栽培し、種子を食用の「ひまわり油」に、使用後は再処理してバイオ燃料に活用する等、自然環境に配慮する先進的な取組を行う。



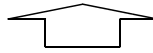
【ひまわり除草管理の様子】



【都市住民との「ふれあい田植え」の様子】

【集落の将来像】

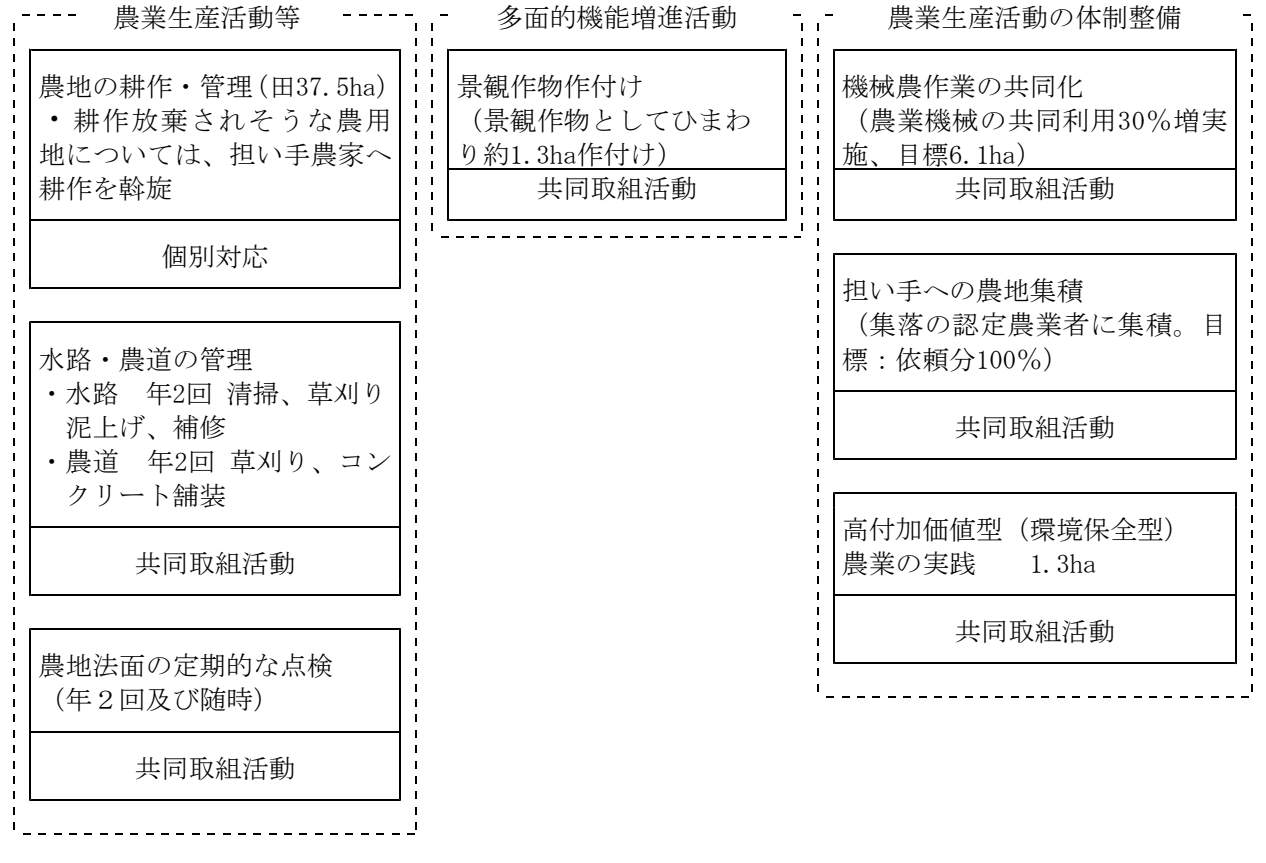
- 地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



【将来像を実現するための活動目標】

- 機械・農作業の共同利用面積を30%増加
- 堆肥などの有機質を活用した土づくりを進め、環境に負荷を与えない環境保全型農業に取り組む
- 町外の親子を対象とした田植・稲刈り及び中学生の農家体験学習の受入れ
- 担い手への農地斡旋

【活動内容】



集落外との連携

- 市内の業者と連携し、ひまわり油の製油及び都市住民との農業交流

4. 今後の課題等

「ひまわり事業」として、非農家・都市住民等との連携、さらには付加価値を生むような取組の中で、連帯感が生まれ環境についての意識を持ってもらえるようになった。しかしながら「ひまわり」の栽培、拡大には人的作業が多く現状での取組が精一杯である。今後、高齢化が進み耕作のできない農地に対しどのような対策を講じるかが今後の課題となっている。

【第2期対策の主な成果】

- 獣害防止柵設置 (H21 : 7,000m)
- 農道コンクリート舗装 (H19 : 2,700m・H20 : 3,800m・H21 : 1,300m)
- 水路補修 (H19 : 1箇所・H20 : 4箇所・H21 : 1箇所)
- 都市住民との交流による地域の活性化
・「ふれあい田植え」参加者の増(H17 : 20名、H21 : 76名)